

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 術後再建腸管を有する高齢患者に対する胆膵内視鏡検査の有用性

研究の目的

消化器内視鏡機器の進歩に伴い、手術後の再建腸管を有する患者さんに対しても胆道や膵臓の内視鏡検査（胆膵内視鏡検査）が行われる機会が増えてきています。本邦では人口の高齢化が進んでおり、胆道や膵臓の病気や治療歴を有する高齢者の方も増えていきます。そのため、これからの消化器内視鏡診療を考える上で、術後再建腸管を有する高齢患者さんの胆膵内視鏡検査についてあらためて考えることは重要であると考えます。このため、当院において手術後の再建腸管を有する患者さんに対する胆膵内視鏡治療を検討し、有効性、安全性に関する諸因子について検討することを目的としています。

研究実施 実施許可日～2029年3月31日

期間：

対象となる方： 2016年10月1日から2024年10月31日までに、附属病院消化器内科で、手術後の再建腸管を有し、胆膵内視鏡検査を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、基礎疾患、既往歴（手術歴やその内容を含む）、内視鏡検査契機、内服薬（抗凝固薬を含む）、検査時に使用した内視鏡と関連処置具、検査内容、検査時間、処置の可否、偶発症の有無、在院日数について、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 吉田健太 連絡先電話番号 0172-33-5111
-------	--